

THE COLLECTION OF
ANTHROPOLOGIST JUNZO KAWADA
AND CERAMIC ARTIST MACHIKO OGAWA

MEMORIES OF WEST AFRICA

ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙
人類学者・川田順造と陶芸作家・小川待子のコレクション



2026年
7月11日|土|—9月6日|日| 世田谷美術館
Setagaya Art Museum

開館時間：午前10時—午後6時（入場は午後5時30分まで） 休館日：毎週月曜日 ※7月20日〔月・祝〕は開館、翌21日〔火〕は休館
観覧料：一般1,400（1,200）円、65歳以上1,200（1,000）円、大高生800（600）円、中小生500（300）円、未就学児は無料
※（ ）内は20名以上の団体料金。事前に電話でお問い合わせください。※障害者の方は500円。ただし小中高大専門学校の障害者の方は無料。
介助者（当該障害者1名につき1名）は無料。※高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。
主催：世田谷美術館（公益財団法人せたがや文化財団） 後援：世田谷区、世田谷区教育委員会、駐日ブルキナファソ大使館
協力：神奈川大学日本常民文化研究所 助成：芸術文化振興基金

MEMORIES OF WEST AFRICA

ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙

人類学者・川田順造と陶芸作家・小川待子のコレクション



川田順造・小川待子邸 | 撮影：清忠之



《男子成人儀礼用楽器》マリ西部 | 1970年代



《赤腰布》ブルキナファソ | 1970年代前半



《織いり鉢》ブルキナファソ | 1970年代前半



《壺》ブルキナファソ | 1970年代前半



《平底かご》ブルキナファソ南部 | 1970年代前半
すべて川田順造・小川待子コレクション 撮影：清忠之

ヨーロッパ・西アフリカ・日本という3つの異なる視座から文化を見つめ、口頭伝承が豊かに息づく社会を調査するかたわら、人々の暮らしの道具からうかがえる世界観を洞察した人類学者・川田順造（1934-2024）。1970年代、夫の川田の調査助手として西アフリカのサバンナの国・ブルキナファソで3年半半生活し、帰国後は独自の「うつわ」の制作により国内外で高く評価されてきた陶芸作家・小川待子（1946-）。ふたりが主に現地調査のなかで集め、日本に持ち帰ったさまざまな手仕事は、1980年代にその一部が公開されて以来、長らく展観の機会がありませんでした。本展は、川田のエッセイ集『サバンナの博物誌』などの記述を手がかりに、600件をはるかに超える夫妻のユニークなコレクションから約350件を選び、ご紹介するものです。ひょうたんを活かした器や儀礼用の楽器、草編みのかごをはじめ、藍や泥などで染めた布、素焼きの土器、木彫の仮面や椅子、そして絵画など、サバンナの人々が生み出した精緻でダイナミックな造形の世界をお楽しみください。

・本展のオンラインチケットは、2026年7月1日[水]正午より販売します（クレジット決済、またはd払い）。
・オンラインでのご購入が難しい方、アーツカード等の各種割引をご利用の方は、美術館窓口で「当日券」をご購入ください。
会場内混雑の際には、お待ちいただくことがあります。あらかじめご了承ください。

オンラインチケット販売サイト <https://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum/>

※ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内では十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp> [@setabi_official](https://twitter.com/setabi_official) [@setagayaartmuseum](https://www.instagram.com/setagayaartmuseum)

世田谷美術館 Setagaya Art Museum 〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 Tel.03-3415-6011(代表)

◎レクチャー

・「曠野の記憶―若き日のアフリカと川田順造」

講師：中尾世治（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科准教授）

日時：7月25日[土] 午後3時30分―午後5時

・「ふたりのアフリカ―川田順造と小川待子のコレクションの魅力」[世田谷美術館友の会共催事業]

講師：塚田美紀（本展担当芸員）

日時：8月1日[土] 午後3時30分―午後5時

※いずれも世田谷美術館講堂にて開催。参加無料、手話通訳付き、当日先着140名（開演40分前より講堂前にて入場整理券を配布）、開場は開演の30分前。

◎100円ワークショップ

小さなお子様から大人の方まで楽しめる工作。

日時：会期中の毎金・土曜 午後1時―午後3時

会場：世田谷美術館地下創作室

定員：一度に30名まで

参加費：1回100円 ※予約不要、随時受付

◎ナイトツアー2026

夜の美術館には怪しい人や不思議なことがいっぱい！閉館後の真っ暗な美術館を次々と降りかかるナゾを解きながら巡る。ちょっぴりハラハラ、いっぱいドキドキのミステリーツアーです。

日時：8月22日[土] 午後6時30分―午後8時30分

会場：世田谷美術館展示室ほか

対象：小学4年生から中学生まで

定員：抽選50名 ※申込締切日=7月31日[金]

詳細は当館ウェブサイトをご覧ください

参加費：500円

※このほか、会期後半にシンポジウム、音楽イベントなどを開催予定。詳細は7月上旬に当館ウェブサイト等でお知らせします。

[同時開催展]

・ミュージアム コレクションⅠ 武蔵野・再考―写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真

5月2日[土]―7月26日[日]

・ミュージアム コレクションⅡ 気になる、こんどの収蔵品―作品がつてきた物語

8月8日[土]―10月25日[日]

[次回企画展]

・スウェーデン・テキスタイル 暮らしと自然に息づく北欧デザイン

9月19日[土]―11月15日[日]



[交通案内]

・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館バス④「美術館」下車徒歩3分
・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス⑤「砧」下車徒歩10分
・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス⑥「美術館入口」下車徒歩5分
・来館者専用駐車場（60台、無料）：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分。

[表面]《儀礼用仮面》ブルキナファソ | 1970年代前半 | 川田順造・小川待子コレクション | 撮影：清忠之 写真：西アフリカ風景 | 撮影：川田順造

